

平成23年度 学校経営方針について

尾張旭市立西中学校長

(1) 本校の教育目標

「創造 実践 健康」を校訓とし、生徒ひとりひとりを大切にする教育に務め知・徳・体の調和の取れた人間育成をめざす。

- 一 自ら進んで学習し、創造性に富む人間を育てる。
- 一 誠実で豊かな情操にあふれ、社会秩序を守り、勤労を貴び実践力のある人間を育てる。
- 一 心身ともに健康で、たくましく生きぬくことのできる人間を育てる。

(2) 経営方針

ア 互いにかかわり合う活動を通して、感性を高め豊かな心や人権意識を育む教育活動を実践する。

イ 落ち着いた学習環境を整え、生徒の学習意欲を高め、確かな学力をつける授業を実践する。

ウ 生徒ひとりひとりに目を向け、ていねいで温かい指導を粘り強く続けることにより、生徒の判断力・思考力・社会性を育て自立を促す。

エ 情報の速やかな共有と共通理解を図り、職員の協働を基に連携し、組織的に校務を遂行する。

オ 家庭や地域の理解と信頼を得られるよう開かれた学校づくりを進める。

(3) 本年度の重点目標

ア 学級活動、道徳の時間を充実し、生徒に自己の内面を見つめ考えさせるとともに、人とかかわり合う活動を通して、自他の大切さを認めることができる心を育てる。

イ 認め合い、励まし合う対話を大切にする学校生活の中で、学校行事や体験的な活動など達成感のある活動や視野を広げる活動を展開し、生徒の意欲と自尊感情を養う。

ウ 日々の授業を大切にし、学ぶ楽しさを感じることができるよう授業を工夫し、自らを高め、お互いを高め合う活動を通して学力の向上を図る。

エ 清掃等による教室環境の整備を充実するとともに、言語環境にも配慮し、学びの場にふさわしい学校環境にする。

オ 教師が生徒のよさを積極的に見つけ、発達段階に応じたかかわり方をすることにより生徒の成長を促す。

カ 家庭・地域との双方向の連携・協力を行うとともに、生徒を主体とする家庭・地域との連携・協力を進める。

(4) 特色ある学校づくり

「自他のよさに気づき互いを認め合う人権尊重の意識を高める教育活動」

ア 人権感覚を磨き、人権意識を高める活動を行う。

イ 人権教育にかかわる環境づくりに努める。

ウ 保護者・地域・生徒との協働活動を行う。

